

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-24	中学校	外国語科	英語	第1学年～第3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	英語 731 732 831 832 931 932	ONE WORLD English Course 1 ONE WORLD English Course 2 ONE WORLD English Course 3	ONE WORLD English Course 1 Essentials ONE WORLD English Course 2 Essentials ONE WORLD English Course 3 Essentials	

## 1. 編修の趣意及び留意点

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条第1～5号）」と、学習指導要領に示された目標とを実際の学習活動を通して達成することを目指しました。

すなわち言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度とコミュニケーション能力の基礎を養い、我が国を愛し、国際社会の平和と発展に寄与する態度が養えるようにしました。

### ☆英語科で扱う4つの領域（教材例）

#### ○聞くこと

- 情報を正確に聞き取る…………… 1年 p.60
- 質問や依頼などに適切に応じる…… 2年 pp.70-71
- 概要や要点を適切に聞き取る…………… 3年 p.71

#### ○話すこと

- 自己紹介のスピーチをする…………… 1年 pp.48-49
- 聞いたことについて感想を述べる… 2年 pp.76-77
- 卒業のスピーチをする…………… 3年 pp.82-83

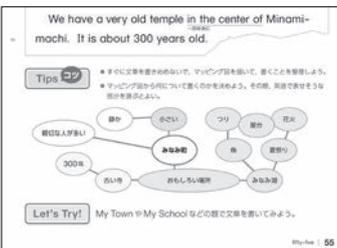
#### ○読むこと

- スキットを感情豊かに表現する…………… 1年 p.73
- 物語や説明文を正確に読み取る… 1年 pp.122-126,  
2年 pp.38-41, 3年 pp.85-89
- 伝言や手紙に適切に応じる…………… 2年 p.20
- 掲示板の内容にコメントする…………… 3年 pp.54-55

#### ○書くこと

- インタビューを聞いてメモを取る…………… 1年 p.84
- 自分の考えや気持ちを書く…………… 2年 p.27, p.103
- 理由や例を含めて自分の考えを書く… 3年 p.47, p.81

自分の考えや意見を伝える活動を通して、自主自律の精神を養います。(3年 p.47)



自己の価値を尊重し、創造性を培うため、マッピングの手法を採用(2年 p.55)



他者とコミュニケーションをとるための技能を培い、自他の敬愛、個人の価値を尊重すること、および協同の精神を養います。(1年 p.60)



いろいろなジャンルの物語を読み、豊かな情操と道徳心を培います。(2年 p.115)



そのほか、4技能を用いたコミュニケーションにおける自己表現の場を随所に設定し、学習者同士においても個人の価値を認め合うことが可能になるように配慮しました。(1年 p.73/2年 p.15)

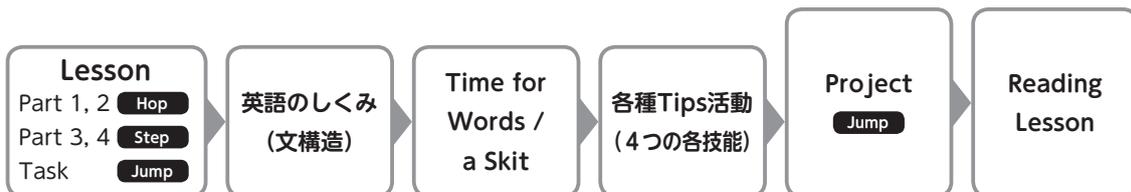
## 2. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法第二条に示す教育の目標及び学習指導要領の目標を達成するために、教科書の構成と内容および教材の選定について、以下のような方針で編修しました。

### ○ 構成・内容

1. 本課など基礎的・基本的な知識・技能の習得と、それらを活用して表現するためのTask（各Lessonに配置）やProjectなどの活動を通して、コミュニケーション能力の基礎を養うことができるような構成としました。

教科書の基本的な構成は次のようになっています。



2. 英語を理解し、英語で表現できる能力を養うため、4領域について下記に留意して編修しました。  
「聞く」活動…まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る活動を設ける。  
「話す」活動…与えられたテーマについて簡単なスピーチが行えるように手順を例示した活動を設ける。  
「読む」活動…話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり、賛否やその理由を示したりできるような活動を設ける。  
「書く」活動…語と語、文と文のつながりなどに注意して正しい文を書くと同時に、身近な場面における出来事や、体験したことなどについて自分の考えや気持ちなどを書くことができるような活動を行う。
3. 英語を通じてコミュニケーションを積極的に図ろうとする態度を育成するため、**幅広い知識と教養を身に付け**、言語や文化に対する理解が深められるようにし、コミュニケーション活動を行うことで**豊かな情操と道徳心を培える**ことを目指しました。
4. 言語活動については、学校内における活動では、グループあるいはペア活動などを取り入れ、**自主自律ならびに自他の敬愛、および協同の精神を養える**よう配慮しました。また、学校内の活動がきっかけとなり、主体的に社会的活動につなげられるような活動を設けました。

### ○ 教材の選定について

1. 教材は幅広いジャンルの中から、**学習指導要領に示された「教材選定の観点」**に即して精選しました。
2. **幅広い知識と教養を身に付け**、言語や文化に対する理解が深められるような題材を精選し、文化の多様性を認め、**他国を尊重し、国際平和の発展に寄与する態度が身に付けられる**ようにしました。



▲2年 p.28



▲2年 p.92



▲3年 p.42

3. **我が国と郷土を愛し、その伝統と文化に触れ**、また世界に向けて発信できるような教材を掲載しました。

4. 教材は、生活を明るく豊かにする外国の文芸作品、音楽などからも取材し、基礎的な教材として示しました。



▲3年 pp.94-95



▲3年 pp.22-23



▲2年 pp.70-71



▲1年 p.122



▲3年 p.75

### 3. 対照表

図書の内容・構成と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

学年・図書の内容	該当する教材名	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1年 Springboard	Springboard 1,2,3,4,5,6	小学校の外国語活動の経験に、中学校の学習要素を添えて、英語の知識として身に付けられるように工夫しました。(第1号)	pp.2-13
1年 Lesson 1～5	「キング先生の家族」など	主人公アヤとケンタが、外国出身の友だちや先生と触れ合う中で、幅広い外国の文化・習慣などの知識や教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。(第1号)	pp.18-24, 26-32,36-44, 50-58,62-70
1年 Lesson 6～9	「外国の学校と日本の学校」 「マンガ大好き」など	教科書の主人公たちの会話を通して、アメリカ、オーストラリアの風俗・習慣など、他国の文化を知り、他国を尊重する態度を養えるようにしました。また、マンガやアニメについて取り上げ、我が国の文化を尊重し、我が国を愛する態度を養えるようにしました。(第5号)	pp.74-82, pp.86-94, 98-106, 108-116
1年 Reading Lesson	なくしたボタン	ガマくんとかエルくんの物語を読んで、友情について考えるなど豊かな情操が培えるようにしました。(第1号)	pp.122-126
2年 Lesson 1	Spring Vacation in Okinawa	沖縄の移民の歴史を通じて、勤労を重んずる態度を養えるようにしました。(第2号)	pp.10-12
2年 Lesson 2	Soccer Robot	日々進歩しているロボット技術の一端に触れることで、将来にわたるその可能性について考えながら、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました。(第3号)	pp.14-22

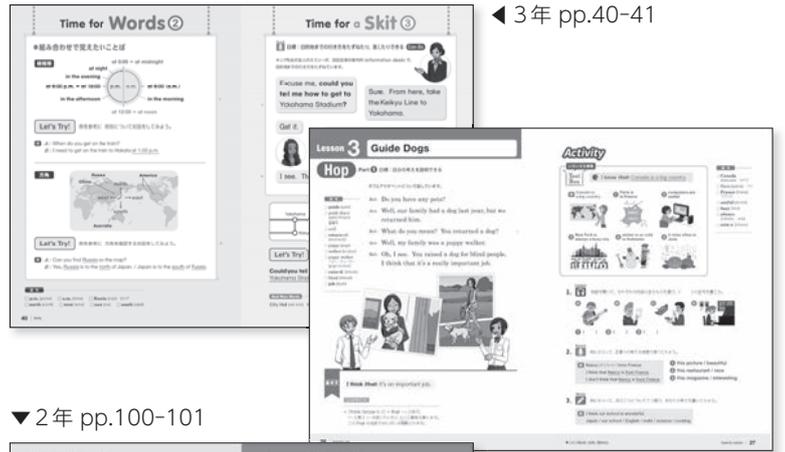
学年・図書の内容	該当する教材名	特に意を用いた点や特色	該当箇所
2年 Lesson 3	Guide Dogs	盲導犬の役割と歴史を扱った教材を通じて、自他の敬愛と協力を重んじるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度が養えるようにしました。(第3号)	pp.26-34
2年 Reading Lesson 1	Short Funny Stories	2編の笑い話のオチを考えることによって、豊かな情操を培えるようにしました。(第1号)	pp.38-41
2年 Lesson 4	Ms. King's Trip with Her Friend	「俳都」松山の歴史に触れることで、日本の伝統と文化を尊重しそれらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました。(第5号)	pp.44-52
2年 Lesson 5	Halloween Party	ハロウィーンの行事についての教材を通して、外国の伝統文化に触れ、他国を尊重する態度を養えるようにしました。(第5号)	pp.56-64
2年 Lesson 6	Internship	教科書の主人公の職業体験の題材を配置し、野口英世などを例に、自分の将来と職業について意識できるように配慮しました。(第2号)	pp.66-74
2年 Lesson 7	Through the Internet	インターネットを通じて、イギリス、フィンランド、韓国の中学生の生活について調べ、自分たちの生活と比較する題材を取り上げ、自他あるいは他国を尊重する態度を養えるようにしました。(第5号)	pp.80-88
2年 Lesson 8	Water Problems	世界の水問題に関する教材を取り上げ、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるように配慮しました。(第4号)	pp.92-100
2年 Reading Lesson 2	The Gift of Tezuka Osamu	手塚治虫の生涯を通して、個人の価値を尊重し、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに職業及び生活との関連を重視する態度が養えるようにしました。また、彼の作品について知ること、生命の大切さや国際社会の平和について考えられように配慮しました。(第2号・第4号・第5号)	pp.104-108
2年 Optional Reading 1	Six Amazing Things about Penguins	ペンギンのあまり知られていない生態についての教材を通して、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。(第4号)	pp.112-114
2年 Optional Reading 2	Jimmy Valentine	物語を読んで、正義などについて考えるとともに、豊かな情操と道徳心を培えるように配慮しました。(第1号・第3号)	pp.115-120
3年 Lesson 1	Kenta's Homestay in London	主人公ケンタがホームステイ先のイギリスで見聞した、食文化や文学を通して他国の伝統と文化を尊重する態度が養えるようにしました。(第5号)	pp.4-12
3年 Lesson 2	A School Trip to Kyoto	世界無形文化遺産として登録された我が国伝統の京料理について取り上げ、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました。(第5号)	pp.16-24
3年 Lesson 3	Our First Rakugo in English	世界に向けて発信している落語を取り上げ、我が国の伝統や文化について理解を深められるように配慮しました。(第5号)	pp.28-36
3年 Reading Lesson 1	The Diary of Anne Frank	『アンネの日記』を通して、ユダヤ人の差別と迫害の事実を知り、正義と責任、自他の敬愛、および国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第3号・第5号)	pp.42-46
3年 Lesson 4	Today's News	ベトナムの祭り、テトチュントゥーについて取り上げ、ベトナムの風習や伝統文化に触れるとともに、異文化を受け入れ、他国を尊重する態度を養えるように配慮しました。(第5号)	pp.48-56
3年 Lesson 5	Athletes and Languages	世界で活躍するスポーツ選手の生き方についての題材を取り上げ、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、自主自律の精神を養うとともに、生活と職業との関連を重視する態度を養えるように配慮しました。(第2号)	pp.60-68
3年 Lesson 6	Why do You Have to Work?	職業及び生活、あるいは勤労について考える題材を配置し、将来に向けて、自主的あるいは自立して学習ができるように配慮しました。プータン、スウェーデンの同年齢の少年少女の働くことに関するスピーチを例にとりながら、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力について考えさせるとともに、社会への共同参画の意識が醸成できるように配慮しました。(第2号・第3号)	pp.72-80
3年 Reading Lesson 2	My Hope for the Future	阪神淡路大震災および東日本大震災に関係した題材を通して、自他の敬愛と協力を重んじ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画しその発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。(第3号)	pp.85-89
3年 Optional Reading 1	Someone	英語の詩を読んで、友情、人間関係、共同の精神、愛情などについて考え、豊かな情操と創造力を培えるように配慮しました。(第1号・第2号)	pp.94-95
3年 Optional Reading 2	Giant Squids	ダイオウイカの撮影についての教材を通じ、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。(第4号)	pp.96-99
3年 Optional Reading 3	Free The Children	世界の児童労働についての問題を知り、正義と責任、平等、自他の敬愛を重んじ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、国際社会の発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。(第3号)	pp.100-105
3年 Optional Reading 4	John Mung	ジョン万次郎の伝記を読み、我が国の伝統や文化について理解を深め、国際社会の発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第5号)	pp.106-111
3年	日本文化を英語で説明しよう	我が国の伝統や文化について外国の人々に発信できる素養を培えるように配慮しました。(第5号)	裏見返し
1, 2, 3年 LessonのActivity/ Task/ Project		4技能を用いたコミュニケーションにおける自己表現の場を随所に設定し、学習者同士においても個人の価値を認め合うことが可能になるように配慮しました。(第2号)	1年p.51 2年p.27 3年p.53など

## 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

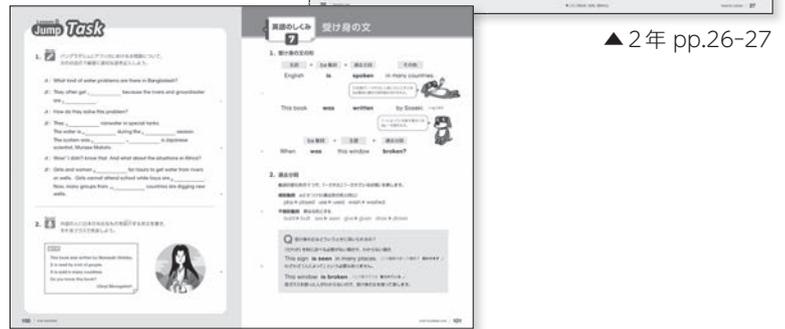
教育基本法第五条に示す義務教育の目的や学校教育法第二十一条に示す義務教育の目標などを達成するため、以下の点について編集上の工夫をしました。

### ☆特色1 見やすく、わかりやすい紙面

全体を通してデザインを統一し、イラストや写真を多用して、生徒の理解をサポートできるように配慮しました。また、必要な情報をすばやく取り出せるようなレイアウトに配慮しました。



▼ 2年 pp.100-101



### ☆特色2 小学校外国語活動との関連

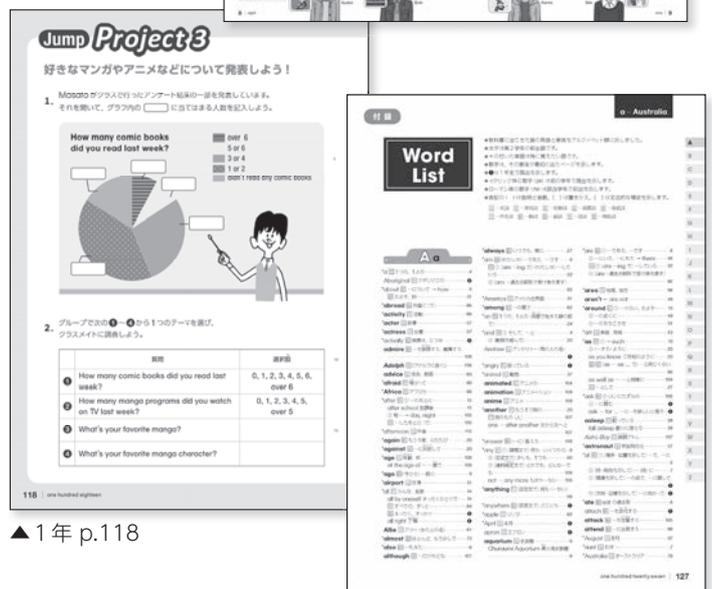
第1学年の巻頭には、「Springboard」として、小学校の外国語活動の経験を振り返り、中学校の学習への導入部を設けました。また、第1学年では全巻を通して、小学校外国語活動の経験を知識として身に付けられるように工夫しました。



### ☆特色3 学びのユニバーサルデザインの実現と環境への配慮

カラーユニバーサルデザインや特別支援教育への対応…色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。カラーユニバーサルデザイン（CUD）は第三者機関による審査及び認証を受けています。

環境への配慮…教科書の印刷にはグリーン電力を使用し、地球環境への影響を少なくするように配慮しています。また、再生紙と植物油インキを使用しています。



# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-24	中学校	外国語科	英語	第1学年～第3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 ―― 教出	731	<b>ONE WORLD English Course 1</b> <b>ONE WORLD English Course 1 Essentials</b> <b>ONE WORLD English Course 2</b> <b>ONE WORLD English Course 2 Essentials</b> <b>ONE WORLD English Course 3</b> <b>ONE WORLD English Course 3 Essentials</b>		
	732			
	831			
	832			
	931			
932				

## 1. 編修の基本方針

本書は、グローバル化が進む国際社会において、主体的に生きていくために必要なコミュニケーションのツールである英語を楽しく学び、英語を使える力を育成することを目指し、次の視点で編修しています。

### ●段階的に英語が習得できる

3年間を見通した到達目標を明確にし、生徒が意欲と自覚をもって段階的に英語を習得することができます。

### ●英語が使える

基礎的・基本的な知識・技能を培う段階から、相手の意見を聞き自分の意見を英語で言えるようになる段階まで、4技能のバランスのとれた活動を豊富に盛り込み、実際に英語を使うことができます。

### ●楽しく学べる

身のまわりのことから学校・社会・世界へと広がる様々な話題・題材を、楽しい活動と関連させて提示し、英語に対する興味・関心を深め、英語を楽しく学ぶことができます。

## 2. 編修上の特色と留意点

### ●到達目標設定と自己評価

各Part, 各種Tips活動 (Writing Tips / Reading Tips / Listening Tips / Conversation Tips), Project活動, Reading Lesson に「目標」を掲げ、1つひとつ目標をクリアしていくことで着実に学力が身につきます。各学年の最後に掲載されているCan-Do自己チェックリストを使うことで、1年間を振り返って自己評価することができます。

### ●幅広い人間性を育み、国際理解に寄与する話題・題材

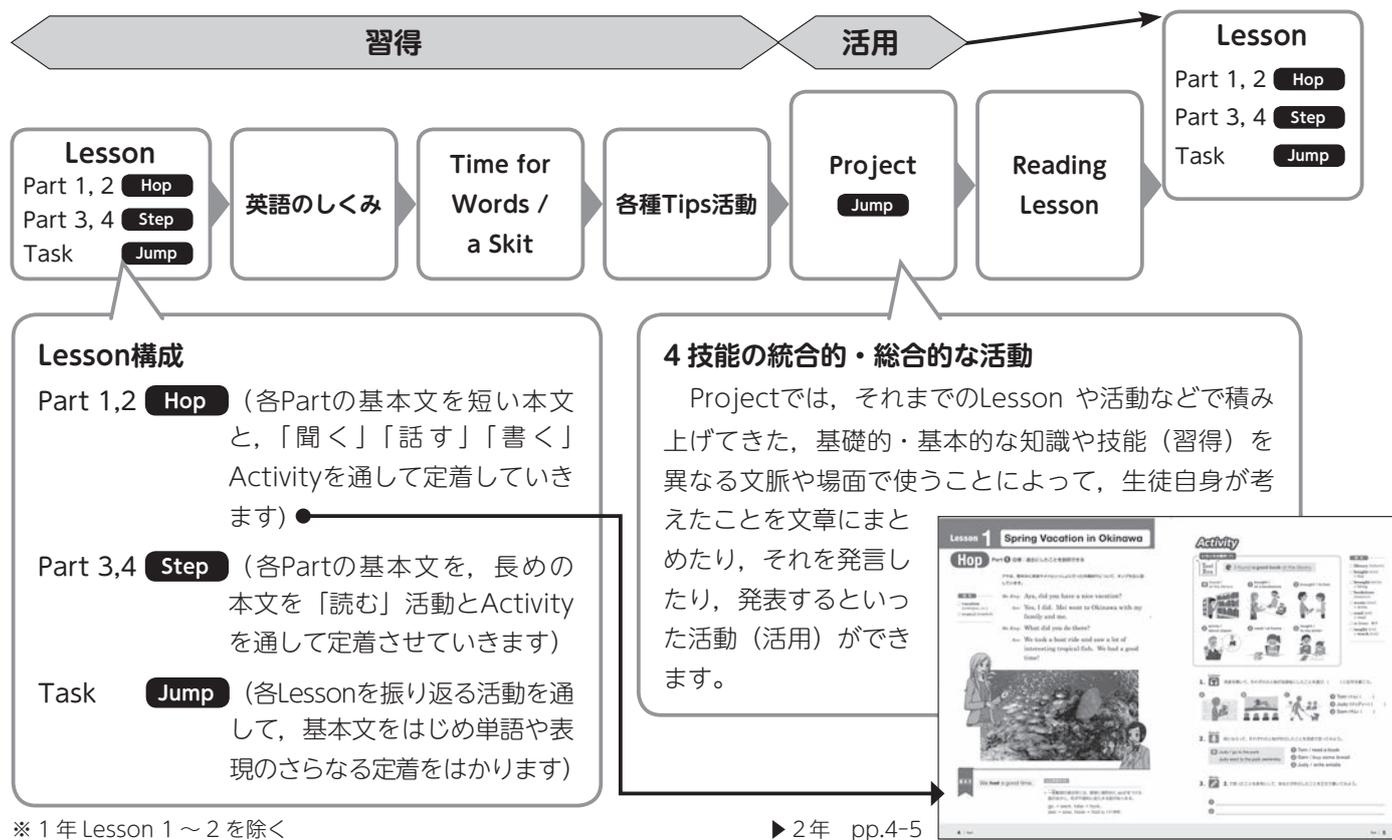
中学生の興味・関心の高い話題・題材を多岐にわたって取り上げています。異文化や日本の伝統文化を尊重し、生命・環境・福祉・平和・人権などについて考えさせる題材、また英語で生徒が発信できる内容の話題・題材を多く取り上げています。

### ●小学校外国語活動から中学校英語学習へのスムーズな移行

Springboard ①～⑩を第1学年の巻頭部分に配置することで、生徒が今までの小学校外国語活動からスムーズに中学校英語に移行していくことができます。Springboard ④までは「聞く」「話す」活動を通し小学校外国語活動を振り返ると同時に、徐々にアルファベットや、文字と音の関係などに触れていきます。

### 3. 教科書の構成

#### ●全体構成



#### ●基礎的・基本的な知識・技能の習得

□Hopでは、基本本文の定着を図ると同時に、語彙を充実するための置きかえ練習としてTool Kitを使った活動を設けています。

□「英語のしくみ」では、コミュニケーションの基礎となる文構造と文法について、簡潔な例文と日本語訳を付けて、ポイントをしばって説明しています。視覚的に理解を助けるための工夫や、キャラクターが解説することで親しみやすくしてあります。

□Writing Tips / Reading Tips / Listening Tips / Conversation Tipsは、それぞれの技能について知っている役に立つ「コツ」を学習します。文章を少しでも長く書くためのコツ、長文を読む際に知っている早く内容をつかめるコツ、速く読まれる英文を聞き取るコツ、会話をスムーズに続けるコツなどを紹介しています。

□Time for Wordsでは、ある場面やジャンルでまとめた語句を、平易な活動を通して習得していきます。また、Time for a Skitでは道案内や電話など、特定の場面でよく使われる表現をスキットを通して身につけていきます。

□別冊Essentials（赤色マスキングシート付き）では、PLUS Dialog, PLUS Activityなどの活動を通して、基本本文や語句の定着をはかります。

## 4. 対照表

課	教材名	パート	学習指導要領の内容との関連 (第1学年)			
			言語活動	主な言語の使用場面と言語の働き	言語材料	配当時間
Sp	Springboard 1～4		S, L	学校:あいさつする, 自己紹介する, 指示する, 質問する, 礼を言う, 謝る 学校, 家庭:身のまわりのものを言う	Good morning, ~. / How are you? / I'm fine. Thank you. / Stand up, please. / 基本的な名詞(CD, book, pencil, apples, piano, など)	4
	Springboard 5		S, W, L		アルファベット(活字体)の導入	2
	Springboard 6～8		S, L		アルファベットの音とつづり, 数詞, 曜日, 教科	2
	Springboard 9		S, L		色	1
	Springboard 10		W		人名, 国名	1
1	アヤの新しいクラス	1～3	S, W, L, R	学校:あいさつする, 自己紹介する, 出身を言う[たずねる]	I am ~. / You are ~. / I'm not ~. / Are you ~? — Yes, I am. / No, I'm not.	6
		Task	S, L, R	学校, 家庭:あいさつする, 自己紹介する	既習の言語材料	1
	Writing Tips 1		W		既習の言語材料	1
2	ボブとケンタの休日	1～3	S, W, L, R	家庭:紹介する, 知らないものについて質問する	This is ~. That is ~. / Is this ~? — Yes, it is. / No, it isn't. / What is ~? — It's ~.	6
		Task	S, R	家庭・地域:質問する	既習の言語材料	1
	英語のしゅみ 1				be動詞	1
	Reading Tips 1		R	学校:あいさつ	既習の言語材料	1
	Time for Words ①		W		家族に関する単語	1
3	メイの好きなもの	1～4	S, W, L, R	学校:自分のことを言う, 好きなことについて質問する, 数について言う, 知らないことについて質問する	I play ~. / I don't play ~. / Do you like ~? — Yes, I do. / No, I don't. / Do you have any ~s? — Yes, I have some ~s. / No, I don't have any ~s. / What do you ~? — I study ~. / What sports do you like? — I like ~.	8
		Task	S, R	学校:自分のことを言う	既習の言語材料	1
	英語のしゅみ 2				語順	1
	Time for Words ②		S	学校行事について言う	季節や月に関する単語	1
	Time for Words ③		S	誕生日を言う	日にち(序数)に関する単語	1
	Project 1		S, W, L, R	学校:自分のことを言う, 発表する	既習の言語材料	2
4	キング先生の家族	1～4	S, W, L, R	学校:家族などを紹介する, 知らない人について質問する, 説明する, 家族や知人について質問する, 説明する, 所有者をたずねる	This is my father. He is ~. / This is my mother. She is ~. / Who is ~? — That is ~. / Sofia is ~. I miss her. / Kevin is cool. Do you often talk with him? / Whose car is ~? — It's mine.	8
		Task	S, R	家族を紹介する	既習の言語材料	1
	英語のしゅみ 3				人称代名詞	1
	Listening Tips		L	情報を聞き取る	既習の言語材料	1
	Writing Tips 2		W		既習の言語材料	1
5	中華街に行こう	1～4	S, W, L, R	家庭:第三者について説明する[たずねる, 質問する], 指示する, 注意を促す	She sings ~. / Does your father speak ~? — Yes, he does. / No, he doesn't. / This bus doesn't go ~. / Look at ~. Let's eat ~. Don't eat ~.	8
		Task	S, W, R	学校:第三者について説明する, 質問する	既習の言語材料	1
	英語のしゅみ 4				一般動詞	1
	Time for Words ④		S	天気・天候について言う, 質問する	天気・天候に関する単語	1
	Time for a Skit ①		S	電話:誘う	Hello. This is ~. / Are you free ~?	1
6	外国の学校と日本の学校	1～4	S, W, L, R	学校:時・場所・時刻・数・長さについて質問する, 説明する	When is ~? — It's on ~. / When do you play ~? — We play it in ~. / Where is ~? — It's in ~. / Where do you eat ~? — We eat it in ~. / What time is it? — It's ~. / What time do you leave ~? — I leave at ~. / How many classes do you have ~? — We have ~. / How long is ~? — It's ~.	8
		Task	S, R	時や場所について言う, 質問する	既習の言語材料	1
	英語のしゅみ 5				疑問文・否定文	1
	Project 2		S, W, L, R	学校:第三者について紹介する	既習の言語材料	2
7	マンガ大好き	1～4	S, W, L, R	学校:「できること」について言う[質問する], 「どちら」が好きなのか質問する, 「どのように」するかを質問する	I can ~. I can't ~. / Can you ~? — Yes, we can. / No, we can't. / Which do you like, ~ or ~? — I like ~. / How does your father ~?	8
		Task	S, W, R	架空のキャラクターについて説明する	既習の言語材料	1
	英語のしゅみ 6				疑問詞を使った疑問文	1
	Conversation Tips		S, L	家庭:相づちを打つ	Cool. / Wow. / Really? / Are you sure? / I know.	1
	Time for a Skit ②		S	学校:依頼する, 許可を求める	Can I ask you ~? Can you ~, please?	1
8	それぞれの冬休み	1～4	S, W, L, R	家庭:今していることを説明する[質問する], 結果を伝える, 理由について質問する, 答える	We are preparing ~. / Mike is helping ~. / Are you enjoying ~? — Yes, I am. / No, I'm not. / The mountain is about 4,200 meters, so it ~. / Why are you ~? — Because I'm ~.	8
		Task	S, R	好きなものとその理由を説明する	既習の言語材料	1
	Time for a Skit ③		S	家庭:注文する	May I help you? / Can I have ~? / For here or to go? / How much is that?	1
9	オーストラリアの観光地から	1～4	S, W, L, R	学校:過去のことを説明する[質問する], 過去のことについて順を追って説明する, 過去のできごとをたずねる	I received an email yesterday. / Did you have ~? — Yes, I did. / No, I didn't. / Sofia went to ~. / The book was ~. The photos were ~.	8
		Task	S, W, R	過去について説明する	既習の言語材料	1
	英語のしゅみ 7				過去のことを表す文(一般動詞)	1
	Project 3		S, W, L, R	学校:結果について説明する	既習の言語材料	2
	Time for Words ⑤		S	気持ちを表す	気持ちを表す単語	1
	Reading Tips 2		R	物語を読む	代名詞	1
	Reading Lesson なくしたボタン		R	物語を読む	既習の言語材料	5
	付録					
	辞書についていっしょに学ぼう!					
	Sing Along! ①②				既習の言語材料	
	重要構文復習リスト					
						119

課	教材名	パート	学習指導要領の内容との関連 (第2学年)			
			言語活動	主な言語の使用場面と言語の働き	言語材料	配当時間
1	Lesson 1 Spring Vacation in Okinawa	1～4	S, W, L, R	学校: 過去のこと[様子]について説明する[質問する, 答える], 身のまわりの人の行動について説明する	We had ~. / The manta rays were ~. The museum was ~. / Was it ~? — Yes, it was. / No, it wasn't. It wasn't ~. / He told me the history ~. He gave me a map ~	8
		Task	S, W, R	過去のことについてたずねる, 発表する	既習の言語材料	1
	英語のしくみ 1				SVOOの文	1
2	Lesson 2 Soccer Robot	1～4	S, W, L, R	学校: 予定を説明する, 未来について説明する, 予定について質問する, 答える, すべきことやしてはいけないことについて説明する	My brother is going to ~. Is he going to ~? — Yes, he is. / No, he isn't. / I will be ~. I won't be ~. / When are you going to ~? — I'm going to ~. / We must help ~. We mustn't give up.	8
		Task	S, R	予定について説明する, たずねる	既習の言語材料	1
	英語のしくみ 2				be going to / will	1
	Time for Words ①		S	学校: 週末の過ごし方について質問する, 答える	週末の過ごし方を表す単語	1
	Conversation Tips 1		S	家庭: 感想を交えながら, 会話する	既習の言語材料	1
3	Lesson 3 Guide Dogs	1～4	S, W, L, R	学校: 自分の考え[いつする[した]のか]を説明する, 過去にしていたことについて説明する	I think (that) ~. / Max was only two months old when ~. When Max came to our house, he ~. / If you are interested in guide dogs, ~. Please visit our website if ~. / When I was coming to school, ~	8
		Task	S, R		既習の言語材料	1
	英語のしくみ 3				接続詞 (when, because, if, that)	1
	Project 1		S, W, L, R	学校: 新聞記事を書く	既習の言語材料	2
	Reading Lesson ① Short Funny Stories		R	笑い話を読む	既習の言語材料	3
	Conversation Tips 2		S	家庭: 相手の言ったことに対して, 質問する	既習の言語材料	1
	Listening Tips 1		L	必要な情報を聞き取る	既習の言語材料	1
4	Lesson 4 Ms. King's Trip with Her Friend	1～4	S, W, L, R	地域: 好きなこと, 楽しいことを説明する, ものがあること, 人がいることを説明する, ものがあるかたずねる, 答える, 印象や感覚を言う	I like riding my bike. Riding my bike is a lot of fun. / There is a book on ~. There are five people in ~. / Are there any famous poets ~? — Yes, there are. / No, there aren't. / It looks really old. That sounds nice.	8
		Task	S, W, L, R	地域: 理想の街について聞く, 自分の理想の街を紹介する	既習の言語材料	1
	Time for a Skit ①		S	学校: 体調をたずねる, 不調を訴える	What's wrong? I have a headache. Did you go to see the doctor?	1
	Time for Words ②		S	将来の職業について説明する	職業を表す単語	1
	Writing Tips		W	考えを整理して文章を書く	既習の言語材料	1
5	Lesson 5 Halloween Party	1～4	S, W, L, R	家庭: 自分がしたいことを説明する, 理由や目的を説明する, 人やものについて情報を加えて説明する, 時間や機会が何のためか説明する	I want to be a teacher. / He is studying hard to become ~. / The girl with the guitar is Debbie. / It's time to go home. Give me another chance to try.	8
		Task	R, L	スピーチの要点をメモする	既習の言語材料	1
	英語のしくみ 4				不定詞 (名詞用法, 副詞用法, 形容詞用法)	1
6	Lesson 6 Internship	1～4	S, W, L, R	学校: しなければならないことを説明する, 助言する, 依頼する, 許可を求める	We have to prepare for ~. I don't have to wash ~. / We should be kind to others. / Will you tell me ~? — Sure. Can you take me ~? — Of course. / May I take pictures? — Of course.	8
		Task	R, L	しなければならないことを説明する	既習の言語材料	1
	英語のしくみ 5				助動詞 (can, should, must, may)	1
	Project 2		S, W, L, R	学校: 将来の夢について聞く, 書く, 感想を言う	既習の言語材料	2
	Time for a Skit ②		S	地域: 道案内する	Go straight and turn left at ~.	1
	Listening Tips 2		L	地域: 場面・話題について聞き取る	既習の言語材料	1
7	Lesson 7 Through the Internet	1～4	S, W, L, R	学校: 複数のものや人を比較して言う, 比較した中でいちばんを言う, 同じ程度のものを言う	My father is older than ~. My father is the oldest in ~. / This book is more interesting than ~. This book is the most interesting of ~. / I like summer the best of ~. I like spring better than ~. / I can run as fast as ~. I think club activities are as important as ~.	8
		Task	S, W, R	授業で学んだ要点を書く	既習の言語材料	1
	英語のしくみ 6				比較の表現 (taller than, more beautiful than, the tallest, the most beautiful)	1
	Time for Words ③		S	感情や性格を言う	感情・性格に関する単語	1
	Reading Tips		R	物語を読む	代名詞	1
8	Lesson 8 Water Problems	1～4	S, W, L, R	学校: ものについて説明する[たずねる, 答える], 過去のできごとの行為者を説明する, 相手に同意を求める, 確認する	English is used in ~. / Was this house built ~? — Yes, it was. / No, it wasn't. / When was the house built? — It was built fifty years ago. This house was built by ~. / You're from America, aren't you? — Yes, I am. / No, I'm not.	8
		Task	S, W, R	日本の有名なものを紹介する	既習の言語材料	1
	英語のしくみ 7				受け身	1
	Project 3		S, W, L, R	学校: アンケート結果を発表する	既習の言語材料	2
	Reading Lesson ② The Gift of Tezuka Osamu		R	伝記を読む	既習の言語材料	6
	付録					
	辞書についていっしょに学ぼう!		R			
	Optional Reading ① Six Amazing Things about Penguins		R	説明文を読む	既習の言語材料	
	Optional Reading ② Jimmy Valentine		R	物語を読む	既習の言語材料	
	Sing Along ①②					
	重要構文復習リスト					
						105

課	教材名	パート	学習指導要領の内容との関連 (第3学年)			
			言語活動	主な言語の使用場面と言語の働き	言語材料	配当時間
1	Lesson 1 Kenta's Homestay in London	1～4	S, W, L, R	地域：人やものの呼び名を説明する、どのような気持ちか説明する、ものごとについて説明する、ものごとに関する情報を説明する	People call the tower Big Ben. / The statue makes me happy. / These are called scones. / The stories were written by ~.	8
		Task	S, R	ものごとについて説明する	既習の言語材料	1
	Time for a Skit ①		S	買い物：要望を伝える	It's too ~ for me. Do you have any ~ ones? / I recommend ~.	1
	Time for Words ①		W	ものごとの性質を表す	対で覚えたい形容詞	1
	Reading Tips 1		R	学校：物語文をできごとの順序に注意して読む	時間の経過を表す語	1
2	Lesson 2 A School Trip to Kyoto	1～4	S, W, L, R	地域：現在まで続いていることを説明する、継続の期間をたずねる、経験したことをたずねる、説明する、現在までに完了したことをたずねる、説明する	The restaurant has been here for ~. / Have you lived ~ for...? — Yes, I have. / No, I haven't. How long have you lived ~? — I have lived ~ for ... / I have been to ~ before. I have never been ~. / He has just finished ~. Umami has already become ~. I haven't finished ~ yet.	8
		Task	S, R	過去から今までにしたことをたずねる	既習の言語材料	1
	英語のしくみ 1				現在完了形	1
	Conversation Tips 1			家庭：対話が途切れないように話を続ける	Well..., Um...	1
	Time for a Skit ②		S	地域：相手の要望を聞く、自分の要望を伝える	I'll have ~. Would you like ~? I'd like to have ~.	1
3	Lesson 3 Our First Rakugo in English	1～4	S, W, L, R	地域：あることが人にとってどうであるか説明する、やり方を説明する、してもらいたいことを説明する、わからないことを説明する	It was hard for me to ~. / I didn't know when to laugh. I'll show you how to buy the tickets. / I want you to ~. / I don't know what I should do.	8
		Task	S, W, R	文章を読んで人に説明する	既習の言語材料	1
	英語のしくみ 2				不定詞 (It is ... to ~. how [what, where, when] +to ~. want [tell, ask] +人+to ~.)	1
	Project 1		S, W, L, R	地域：自分たちの町のガイドブックをつくる	既習の言語材料	2
	Time for Words ②		S	家庭：時間帯や方角を説明する	組み合わせで覚えたいことば (時間帯, 方角)	1
	Time for a Skit ③		S	道案内：目的地までの行き方をたずねる、答える	Could you tell me how to get to ~? Take the ~ Line.	1
	Reading Lesson ① The Diary of Anne Frank		R	学校：説明されている状況をイメージしながら読む	既習の言語材料	5
	Writing Tips 1		W	学校：理由や例を示しながら説明する	既習の言語材料	1
4	Lesson 4 Today's News	1～4	S, W, L, R	地域：何かをしている人について説明する、ものについて説明する、ものやことについて詳しく説明する、題材についてコメントする	The boy performing now is ~. / It's the new computer made for you. / It's the festival Vietnamese children enjoy most. / 既習の言語材料	8
		Task	W, R	日本の伝統文化について書く	既習の言語材料	1
	英語のしくみ 3				後置修飾 (現在分詞, 過去分詞, 接触節)	1
	Time for Words ③		W	人やものの位置を説明する	いろいろな前置詞 (above, below, acrossなど)	1
	Reading Tips 2		R	先を予測しながら読む	文の流れを表す語 (First, Second, Thirdなど)	1
5	Lesson 5 Athletes and Languages	1～4	S, W, L, R	学校：人やものについて説明する、人やものについて詳しく説明する、別の言い方をする	I remember the athlete who ~. / Her words had a power that ~. / The language which her trainers used was ~. / That is the longest distance that ~.	8
		Task	S, R	いろいろな人を説明する	既習の言語材料	1
	英語のしくみ 4				関係代名詞	1
	Conversation Tips 2		S	相手に同意したり、理由を付け加えて話す		1
	Listening Tips		L	必要な情報を聞き取って、メモする		1
6	Lesson 6 Why do You Have to Work?	1～4	S, W, L, R	学校：自分の意見をまとめて発表する[伝える]、相手の話をよく聞き、意見を言い合う	既習の言語材料	8
		Task	S, W, R	自分の意見を整理して発表する		1
	Writing Tips 2		W	複数の理由や例を含めて、自分の考えを書く		1
	Project 2		S, W, L, R	学校：自分の考えを発表する	既習の言語材料	2
	Time for a Skit ④		S	電話：伝言を依頼する	I'm sorry. He's not here right now. Could you just ask him to call me back?	1
	Reading Lesson ② My Hope for the Future		R	地域：実際に起きたことと、話者の考えとを区別して読む	既習の言語材料	6
	付録					
	辞書についていっしょに学ぼう!					
	Optional Reading ① Someone		R	詩を読む	既習の言語材料	
	Optional Reading ② Giant Squids		R	説明文を読む	既習の言語材料	
	Optional Reading ③ Free The Children		R	説明文を読む	既習の言語材料	
	Optional Reading ④ John Mung		R	伝記を読む	既習の言語材料	
	Sing Along! ①②					
	重要構文復習リスト					
						87